

壁紙の品質規格と安全性

XBクロスは、JIS規格やSV規格に適合し、F☆☆☆☆ですので、安心してご使用いただけます。

SV規格	Standard Value (壁紙製品標準規格)
	快適・健康・安全に配慮した製品を供給することを目的として壁紙工業会によって制定された自主規格です。

JIS規格 (壁紙: JIS A 6921)	Japanese Industrial Standards (日本産業規格)
	日本の工業製品の品質安定を目的とした産業標準化法に基づき制定された国家規格です。

項目 NO.	試験項目		SV 規格	JIS 規格
			規格値	規格値
1	退色性 (号)		4 以上	同左
2	摩擦色落ち度 (級)	乾燥摩擦	縦	4 以上
			横	4 以上
		湿潤摩擦	縦	4 以上
			横	4 以上
3	隠ぺい性 (級)		3 以上	同左
4	施工性		浮き及びはがれがあってはならない	同左
5	湿潤強度 (N/1.5cm)		縦	5.0 以上
			横	5.0 以上
6	ホルムアルデヒド放散量 (mg/L)		0.2 以下(※)	同左
7	重金属	砒素 (mg/kg)	3 以下	—
		鉛 (mg/kg)	20 以下	—
		カドミウム (mg/kg)	3 以下	—
		クロム (mg/kg)	20 以下	—
		水銀 (mg/kg)	2 以下	—
8	塩化ビニルモノマー		0.1 以下	—
9	残留 VOC		TVOC (μg/g)	100 以下
			TEX 芳香族 (μg/g)	10 以下

(使用原材料)

10	安定剤	鉛、カドミウム、有機スズを含有する安定剤は使用しない。	—
11	可塑剤	沸点が300℃以上の難揮発性可塑剤を使用する。ただしDBPは使用しない。	—
12	発泡剤	フルオロカーボン類は使用しない。	—
13	溶剤	TEX(トルエン、キシレン、エチルベンゼン)は使用しない。	—

※ホルムアルデヒド放散量の0.2mg/L以下は建築基準法のF☆☆☆☆に適合しています。

- 上表は、各規格の規定内容を簡略化して一覧にしたものです。項目1～6は、両規格とも同じです。SV規格は、JISの基本品質に、より安全性を考慮して重金属やVOCなどの規定が加えられています。
- JIS規格・SV規格の内容は、社会情勢の変化によって随時改定されます。
- SV規格の詳細につきましては壁紙工業会ホームページ(<http://www.svkikaku.gr.jp>)をご参照ください。

品番対照表 旧 ▶ 新XB

17-21 XB	21-24 XB	17-21 XB	21-24 XB	17-21 XB	21-24 XB
XB-701	XB-101	XB-721	XB-141	XB-741	
XB-702	XB-102	XB-722	XB-143	XB-742	
XB-703	XB-103	XB-723		XB-743	
XB-704	XB-104	XB-724		XB-744	
XB-705	XB-107	XB-725		XB-745	
XB-706	XB-105	XB-726		XB-746	
XB-707	XB-109	XB-727		XB-747	XB-152
XB-708		XB-728		XB-748	XB-153
XB-709		XB-729		XB-749	XB-154
XB-710		XB-730	XB-144	XB-750	
XB-711		XB-731		XB-751	
XB-712	XB-137	XB-732		XB-752	
XB-713	XB-138	XB-733		XB-753	
XB-714	XB-139	XB-734		XB-754	
XB-715		XB-735		XB-755	
XB-716	XB-140	XB-736		XB-756	
XB-717	XB-133	XB-737		XB-757	
XB-718	XB-134	XB-738		XB-758	
XB-719	XB-135	XB-739		XB-759	
XB-720		XB-740		XB-760	

品番対照表 新 ▶ 旧XB

21-24 XB	17-21 XB	21-24 XB	17-21 XB	21-24 XB	17-21 XB
XB-101	XB-701	☆ XB-121		XB-141	XB-721
XB-102	XB-702	☆ XB-122		☆ XB-142	
XB-103	XB-703	☆ XB-123		XB-143	XB-722
XB-104	XB-704	☆ XB-124		XB-144	XB-730
XB-105	XB-706	☆ XB-125		☆ XB-145	
☆ XB-106		☆ XB-126		☆ XB-146	
XB-107	XB-705	☆ XB-127		☆ XB-147	
☆ XB-108		☆ XB-128		☆ XB-148	
XB-109	XB-707	☆ XB-129		☆ XB-149	
☆ XB-110		☆ XB-130		☆ XB-150	
☆ XB-111		☆ XB-131		☆ XB-151	
☆ XB-112		☆ XB-132		☆ XB-152	XB-747
☆ XB-113		XB-133	XB-717	XB-153	XB-748
☆ XB-114		XB-134	XB-718	XB-154	XB-749
☆ XB-115		XB-135	XB-719	☆ XB-155	
☆ XB-116		☆ XB-136			
☆ XB-117		XB-137	XB-712		
☆ XB-118		XB-138	XB-713		
☆ XB-119		XB-139	XB-714		
☆ XB-120		XB-140	XB-716		

☆は新商品です

取扱上のご注意

■ 商品選択上のご注意

● 見本・サンプル・写真について

製造ロットの違いにより、見本やサンプル帳と実際の商品が若干異なる場合があります。なお、施工例写真は、照明の影響や印刷の都合上、実物と多少違って見える場合がありますので、ご了承ください。

● 商品の仕様変更・供給について

改良その他の事情により、予告なく仕様変更を行なうことがあります。また、生産中止などにより供給不能となる場合があります。

■ 施工上のご注意

● 保管はタテ置きで

商品はタテ置きで保管してください。ヨコ積みや井桁積みは置き跡がつきやすく、光沢差やエンボスつぶれの原因となります。

● きれいな仕上がりは平滑な下地から

下地は平滑に仕上げてください。また、ネジ・クギ類は施工後の変色を避けるため、突起を完全に沈め、サビ止めをしてください。

● 浮いた裏打紙の処理

張り替え時、下地面に残った裏打紙(残紙)は剥がしてから施工してください。残紙が浮いたまま施工すると目隙などの原因になります。

● 下地や状況に応じたシーラー処理を

ベンキ・コンクリート・モルタル・木質系下地の場合は、それぞれ専用のシーラーで必ず下地処理をしてください。特にベニヤなどの木質系下地に直接施工した場合、時間がたつとシミや変色の原因になります。シーラーは接着不良や変色を防ぎ、リフォーム時に剥がしやすくします。

● 壁紙の特性について

ビニル壁紙は、リピート表示のない商品でも基本的にある単位と同じ柄の繰り返しで出来ています。このため、見る角度や光の当たり方によって微妙な凹凸の繰り返しが目立つ場合があります。これは製法上の特性であり、現在の技術では完全に防ぐことはできません。また、表面の凹凸が少ない商品は、ジョイント部が比較的目立ちやすい傾向があります。これは、塗装と異なり、つなぎ合わせて施工する壁紙である限り避けることのできない商品特性です。あらかじめご了承ください。

● 有効巾について

壁紙は必ず有効巾でご使用ください。重ねしろは有効巾に含まれません。有効巾を超えた使用は、左右色違いの原因となります。

● ジョイント位置について

ジョイント位置は、端部同士で施工してください。両端部と中央部では、色差が生じる場合があります。また、窓の上下など一部だけを横張りをする場合、色違いが生じますので、必ず同じ方向で張ってください。

● 商品特性に応じた施工方法を

表面の凹凸が少ない商品はジョイントが比較的目立ちやすい意匠特性があります。突き付け施工でジョイントが目立ちやすい場合は、重ね断ち施工をおすすめします。

● 三巾ほど施工した時点で状態を確認

三巾ほど施工した時点で問題のないことをご確認ください。明らかに製品に欠陥があると判断された場合には、ただちに作業を中断し当社までご連絡頂きますようお願い申し上げます。三巾以降相当量の作業を進行した場合、施工費賠償の請求、商品の返品等は原則としてお受けいたしかねますのでご了承ください。

使用上のご注意

● 入居後は、まず換気を

施工時の臭いが残っている場合がありますので、入居後一週間程度は十分に換気を行なってください。

● 直射日光や熱からの保護

直射日光や熱風が長時間あたると、変退色しやすくなります。カーテンやブラインドを活用し、直射日光を避けるよう心がけてください。また、暖房器具の熱風が直接壁紙に当たらないようにしてください。

● 粘着テープを貼らない

粘着テープ(セロハンテープやガムテープなど)を壁紙に貼らないでください。テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。また、粘着テープを剥がす時に壁紙が破損することがあります。



● 薬品や化粧品などを付着させない

スプレー式の薬品、殺虫剤、化粧品を壁紙に吹き付けないでください。壁紙が変色することがあります。



● 家具を壁面に密着させない

家具の塗料に含まれる色素やベニヤの色素により、壁紙が変色することがあります。家具と壁紙の間は空間の余裕をとってください。空間を設けることは、変色だけでなく結露やカビの予防にもなります。

● 結露とカビについて

結露や過度の湿気は、シミ・剥がれ・カビの原因となりますので、室内の換気や湿度調整を心がけてください。カビの発生や繁殖を抑制する「防かび」壁紙もありますが、壁紙単体でカビの発生を防ぐことは不可能です。カビは住宅の構造や生活環境に大きく影響を受けます。常に換気を心がけ、通風を良くし、湿度の上昇をおさえてください。

● 室内空気の汚れについて

室内空気の汚れ(ホコリ、タバコ、キッチンからの油煙など)は、壁紙を短期間で黄変させてしまいます。できるだけ室内の換気を心がけてください。

● ホコリや汚れについて

ホコリは、時々ハタキをかけたり電気掃除機などで吸い取ってください。ホコリや汚れを放置しておきますと、湿気や油分を吸って取りにくくなりますので、長時間放置しないようにしてください。汚れには多種多様なものがあり、種類や放置時間によって除去できない場合があります。

● 汚れが付着したら

飲食物や調味料などの水汚れは、直ちにかたく絞ったスポンジやタオルで汚れを吸い取るように拭き取ってください。落ちにくい場合は中性洗剤を使用し、できるだけ柔らかい歯ブラシなどで泡立てながら落してください。最初から強くすると、汚れが染み込んだり広がる場合がありますので注意しましょう。拭き掃除が終わりましたら、必ず水かぬるま湯で洗剤が残らないようきれいに拭き取ってください。洗剤の拭き残しは変色の原因となります。

● 剥がれが生じたら

時間の経過と共に部分的な剥がれが生じる場合があります。きれいに補修するコツはできるだけ早く対処することです。剥がれてから時間が経ったものや、劣化して固くなったものは補修が困難になります。剥がれが広がる前に下地の汚れを取り去り、木工用水性接着剤など強めの接着剤を壁紙裏面に塗り付け、十分圧着してください。

● メンテナンスと張替えについて

日常的にメンテナンスを行ないながら、5~10年を目安に張り替えをおすすめします。

